



はね ちえこ
羽根 千恵子 氏

生年月日 昭和22年8月4日生

住 所 田辺市本宮町請川

本宮町には、大瀬地区の「大瀬の太鼓踊」、住民が集団移転をして無人となった平治川地区の「平治川の長刀踊」、土河屋地区の「お夏清十郎踊り」、萩地区の「萩の餅搗踊」、伏拝地区の「伏拝の盆踊」の五つの踊りが県の無形民俗文化財に指定されている。四村川小学校では平成7年から民俗芸能の継承を目的に「大瀬の太鼓踊」を授業に取り入れており、平成14年に氏が赴任すると、小さい頃から踊りや太鼓に興味があったことから、その授業に積極的に参加し、以降「大瀬の太鼓踊」など地域の民俗芸能に意欲的に関わることとなる。

五つの踊りにはそれぞれ保存会があるが、少子高齢化の進展により人口減少が進み、それに伴い民俗芸能を習得する人口も減少し、次世代への伝承に困難さを伴うようになっていた。このようなことから、郷土の民俗芸能を未来に引き継いでいきたいと、氏が発起人となり、平成20年に熊野本宮伝統芸能教室と熊野本宮伝統芸能子ども教室を発足した。

「大瀬の太鼓踊」は、毎年8月に大瀬地区の盆行事として奉納される大瀬の盆踊りの中の一つであり、国選択無形民俗文化財（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財）にも指定されている。

「平治川の長刀踊」は、源平合戦に敗れ平治川の地に落ちのびた平家の子孫らが、盂蘭盆に先祖の霊を慰めるために踊ったのが始まりといわれている。

氏は民俗芸能を継承することで郷土愛が芽生え、本宮町の活性化につながることを願い、熊野本宮伝統芸能教室では「大瀬の太鼓踊」など大瀬地区に伝わる盆踊りを、熊野本宮伝統芸能子ども教室では「平治川の長刀踊」を毎月定期的集まり、踊りの保存と伝承のため稽古に勤しむ。

このほか、「大瀬の太鼓踊」など関連する諸行事を後世に長く伝承するため、氏は熊野本宮伝統芸能教室・熊野本宮伝統芸能子ども教室や大瀬太鼓踊保存会の代表として、本宮地域の住民有志とともに、毎年夏には本宮町で開かれている「新成人を祝う会（令和4年から「二十歳を祝う会」に名称変更）」や「こだま祭」などの地域のイベント等で披露し、地域で伝承されてきた民俗芸能のすばらしさを伝えるとともにイベントや式典に花を添えている。また、第28回国民文化祭・やまなし2013「民謡・民舞の祭典」に出演するなど、郷土の民俗芸能を広く公開し、伝承意

第54回（令和5年）

欲の向上を図るとともに、民俗芸能への理解を深めようと活動に尽力する。

このように、氏が中心となった精力的な保存活動がなければ、脈々と世代を超えて伝承されてきた郷土の民俗芸能は、すでに消滅していたかも知れず、すでに消滅した地区や消滅しつつある地区の民俗芸能を継承し、保存と伝承に尽力する氏の活動は地域の文化の豊かさを守るうえで非常に重要である。また、活動を通じて地域文化の担い手づくりや地域住民の世代間の融和を図り、郷土の歴史と文化の学習の機会を確保するなど、郷土の民俗芸能の保存と伝承に努めてきた氏の功績は誠に多大である。

（学 歴）

昭和41年 和歌山県立新宮高等学校卒業
昭和45年 日本体育大学体育学部卒業

（職 歴）

昭和45年 新宮市立高田小学校講師（東牟婁地方の小中学校講師を歴任）
昭和48年 本宮町立皆地小学校教諭（東牟婁地方の小学校教諭を歴任）
平成7年 本宮町立本宮小学校教頭（東牟婁地方の小学校教頭を歴任）
平成14年 本宮町立四村川小学校校長
平成17年 田辺市立四村川小学校校長
平成18年 田辺市立本宮小学校校長
平成20年 田辺市立本宮小学校校長退職

（主な活動等）

平成14年 本宮町立四村川小学校に赴任後、大瀬太鼓踊保存会の支援を受けて行われていた「大瀬の太鼓踊」の授業に積極的に参加
平成18年 旧四村川小学校・旧本宮小学校・旧請川小学校が統合、本宮小学校校長として、地域から学ぶ民俗芸能継承の取組を継続するとともに、新たに「平治川の長刀踊」を授業に加える
平成20年 熊野本宮伝統芸能教室と熊野本宮伝統芸能子ども教室を発足、「大瀬の太鼓踊」と「平治川の長刀踊」の伝承活動を開始
平成25年 第28回国民文化祭・やまなし2013「民謡・民舞の祭典」に出演、「平治川の長刀踊」を披露
平成28年 熊野本宮伝統芸能教室が大瀬太鼓踊保存会を継承、「大瀬の太鼓踊」の伝承活動をさらに加速させる
令和3年 第63回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会に出演、「大瀬の太鼓踊」を披露

（役職等）

平成20年～ 熊野本宮伝統芸能教室代表、熊野本宮伝統芸能子ども教室代表
平成28年～ 大瀬太鼓踊保存会会長

（受賞歴） ※大瀬太鼓踊保存会として

令和2年 和歌山県教育委員会功労賞（社会教育部門 団体の部）（和歌山県）